

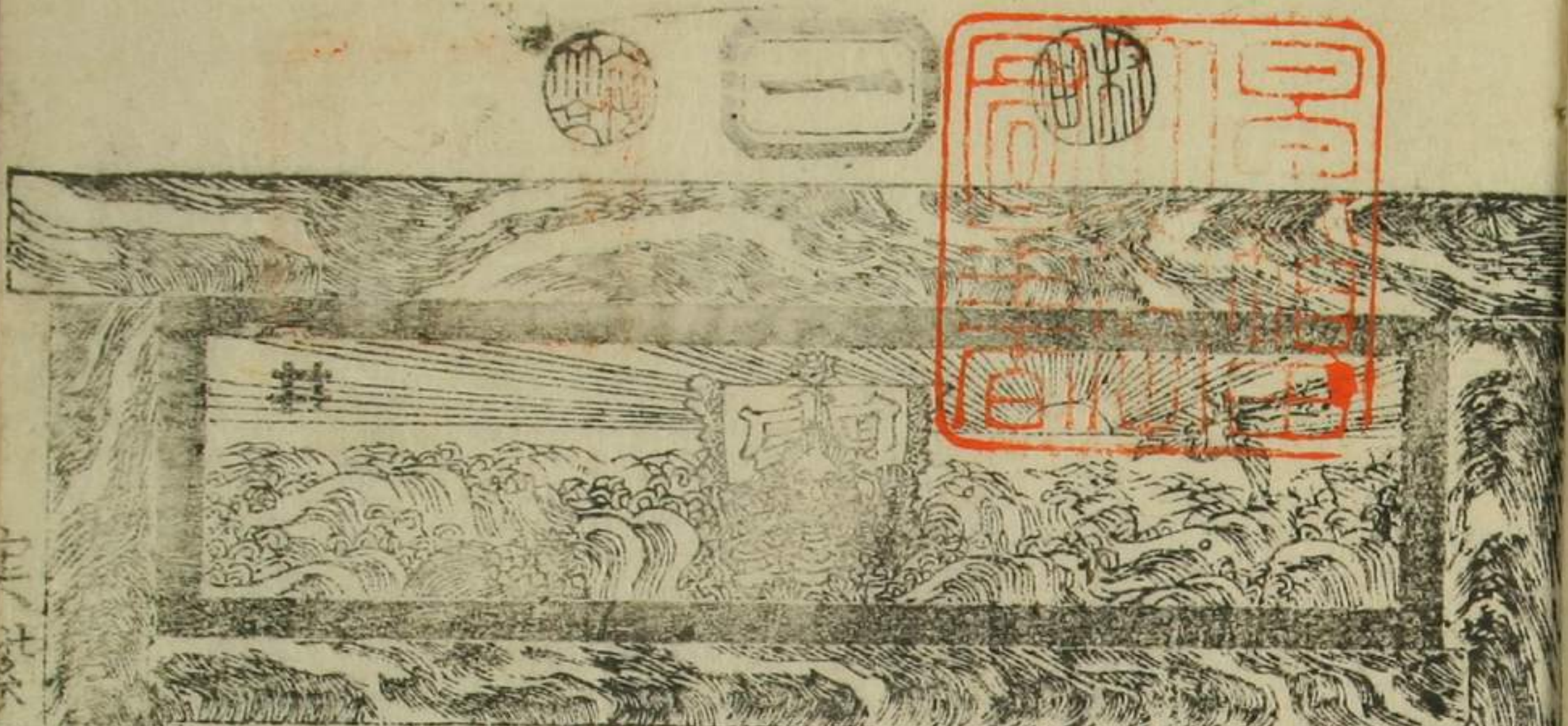


根源實業
12

遠 13
1580
4



門 八道13
 番 1580
 卷 4



實紫四編序

笠亭述

妻女子珍宝及王位云云貪慾の深人驚る金言を
 此草紙の御門の揺小受過られた他の迷惑野を彼方の物と
 血脈一枚珠数一連と相の山と諷せ遣る老波涙と覆後
 生氣と遊去位が好頃合と思ふ故人本町巷公羽も既公羽も
 ら湯屋の比論が便是如人慾の垢と脱 拓楯口と潜の上御深窓に入
 るかこの同く主君も僮僕も皆裸体字中一條襟袋外自身は漆物ら
 る利も須陀も異らざりけり如是悟則八萬の宝蔵目前の小我
 風情の拙作も見守るふより教訓を久疎潤小勿あるを心得
 揚る帆掛船仙洞様を錢湯へうつす船乗合を濁る船死を船
 柄小巾之筆管のりも度らぬ重楫を唯ひの追風力漕ゆりも
 るも罷られのせの續物又一帙方絶のとき時さる汗とこも小

癸丑新刊 かみの赤面るる仙果とすき捨父でん



源頼光
げんらいこう

葛城山魔女
かきやまのまじょ
 土蜘蛛
つちぐも

曲立団全
まがりだてだんぜん



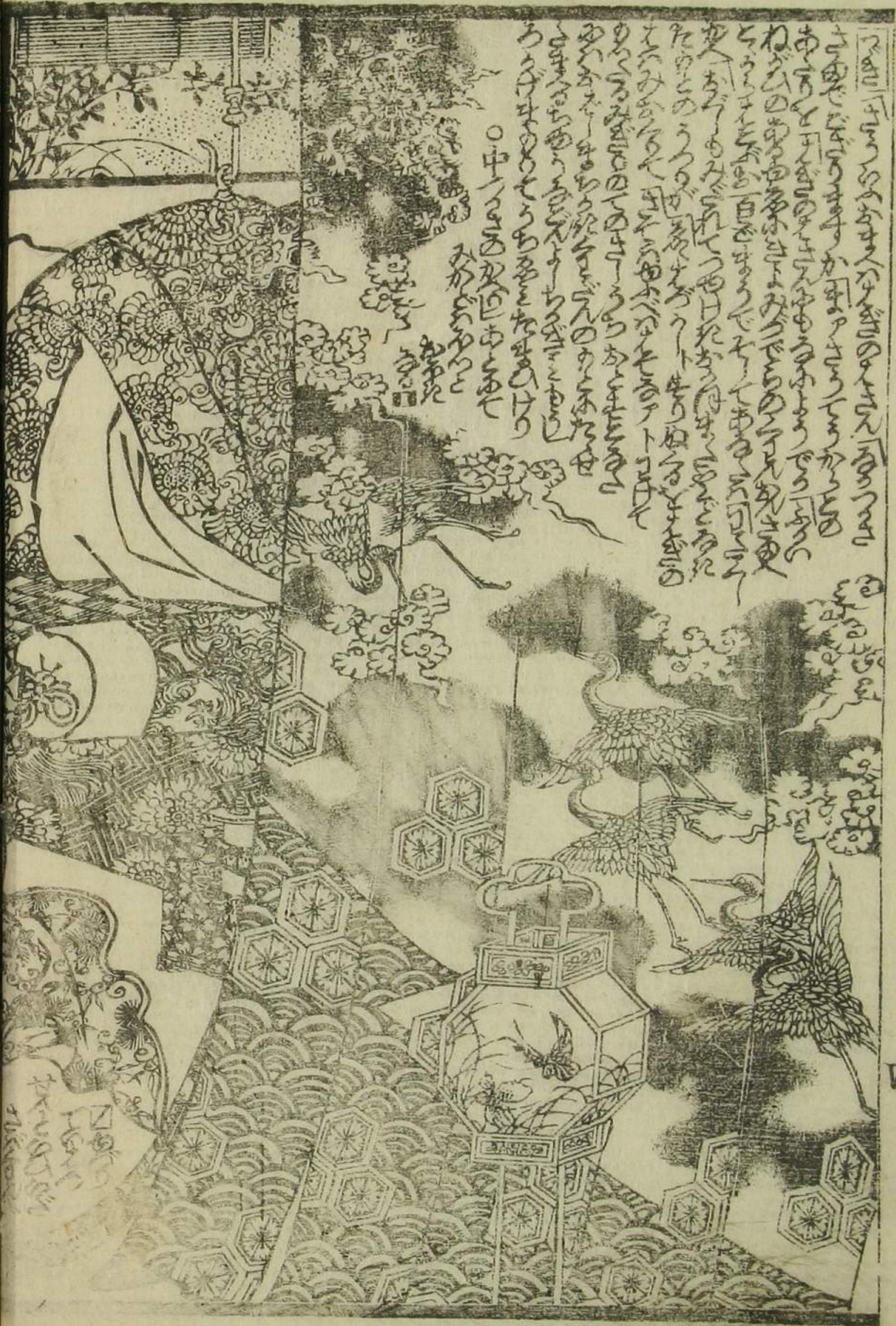
武田 信玄

美作 四



和泉守 藤原保昌

此の山は 春の氣 草木萌生 鳥獸和鳴 太平の象徴也 故に 此の山を 春の山と云ふなり
 ○中ノ山ニ及ビテ
 大なる山也

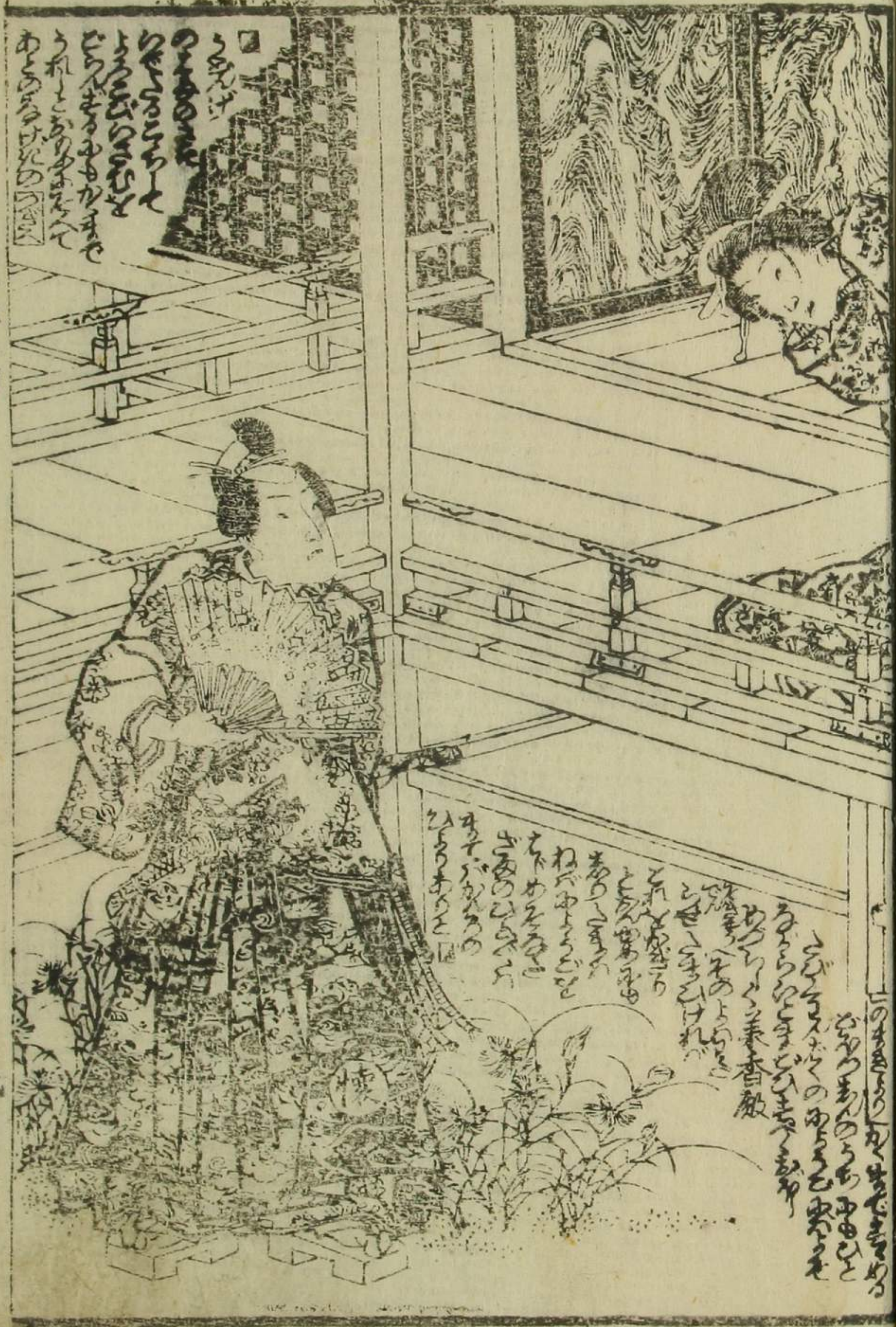


此の山は 春の氣 草木萌生 鳥獸和鳴 太平の象徴也 故に 此の山を 春の山と云ふなり
 ○中ノ山ニ及ビテ
 大なる山也

此の山は 春の氣 草木萌生 鳥獸和鳴 太平の象徴也 故に 此の山を 春の山と云ふなり
 ○中ノ山ニ及ビテ
 大なる山也

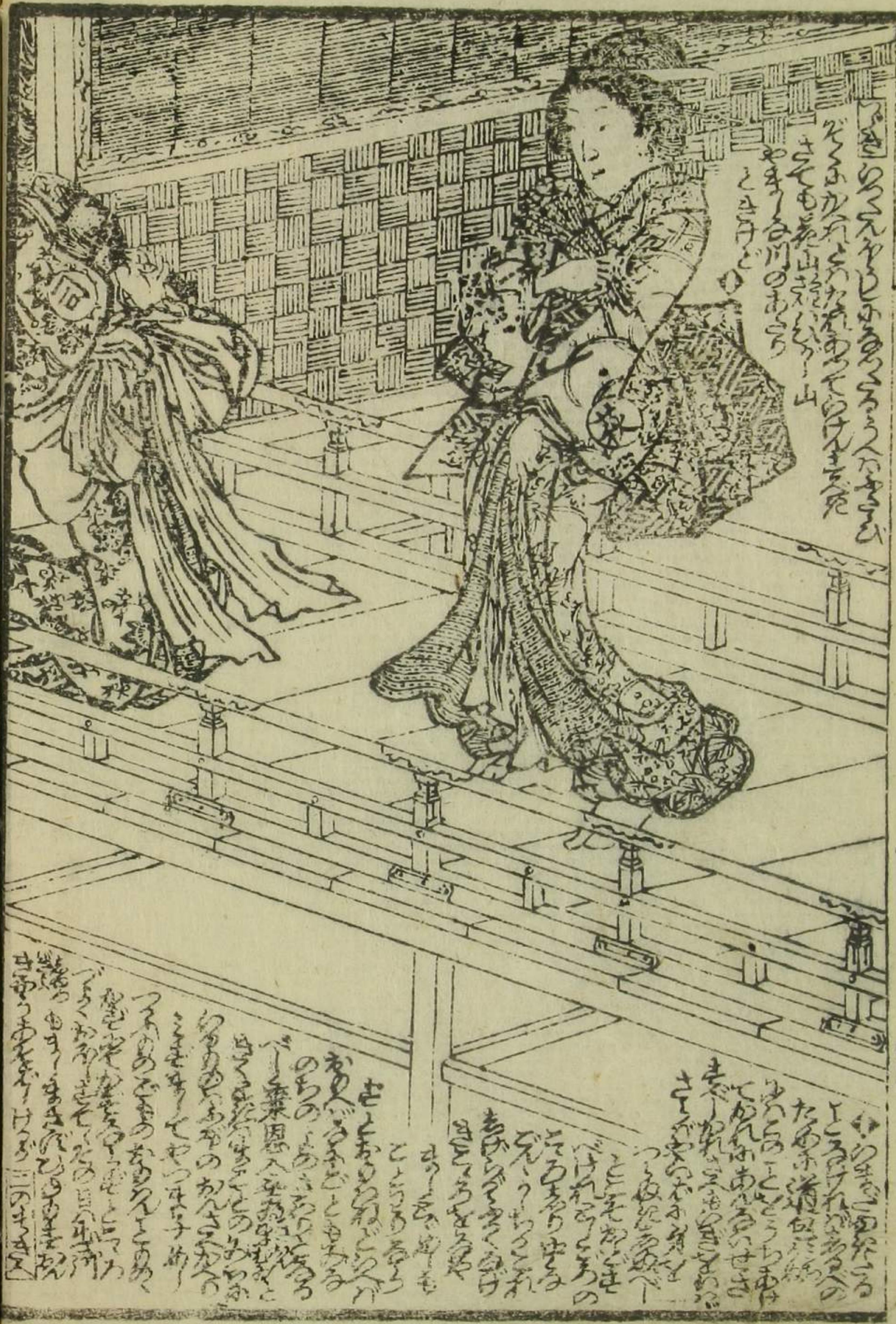
此の山は 春の氣 草木萌生 鳥獸和鳴 太平の象徴也 故に 此の山を 春の山と云ふなり
 ○中ノ山ニ及ビテ
 大なる山也

此の山は 春の氣 草木萌生 鳥獸和鳴 太平の象徴也 故に 此の山を 春の山と云ふなり
 ○中ノ山ニ及ビテ
 大なる山也



あつちのうらみ
 うれしきあつちのうらみ
 うれしきあつちのうらみ
 うれしきあつちのうらみ
 うれしきあつちのうらみ

あつちのうらみ
 うれしきあつちのうらみ
 うれしきあつちのうらみ
 うれしきあつちのうらみ
 うれしきあつちのうらみ



あつちのうらみ
 うれしきあつちのうらみ
 うれしきあつちのうらみ
 うれしきあつちのうらみ
 うれしきあつちのうらみ

あつちのうらみ
 うれしきあつちのうらみ
 うれしきあつちのうらみ
 うれしきあつちのうらみ
 うれしきあつちのうらみ



みやく、おもしろい、うら
 へ、さし、こゝろ、おもしろ
 うらみ、おもしろい、うら
 へ、さし、こゝろ、おもしろ



このうらみは、みやうらみ、まゝの
 たし、さし、こゝろ、おもしろ
 うらみ、おもしろい、うら
 へ、さし、こゝろ、おもしろ



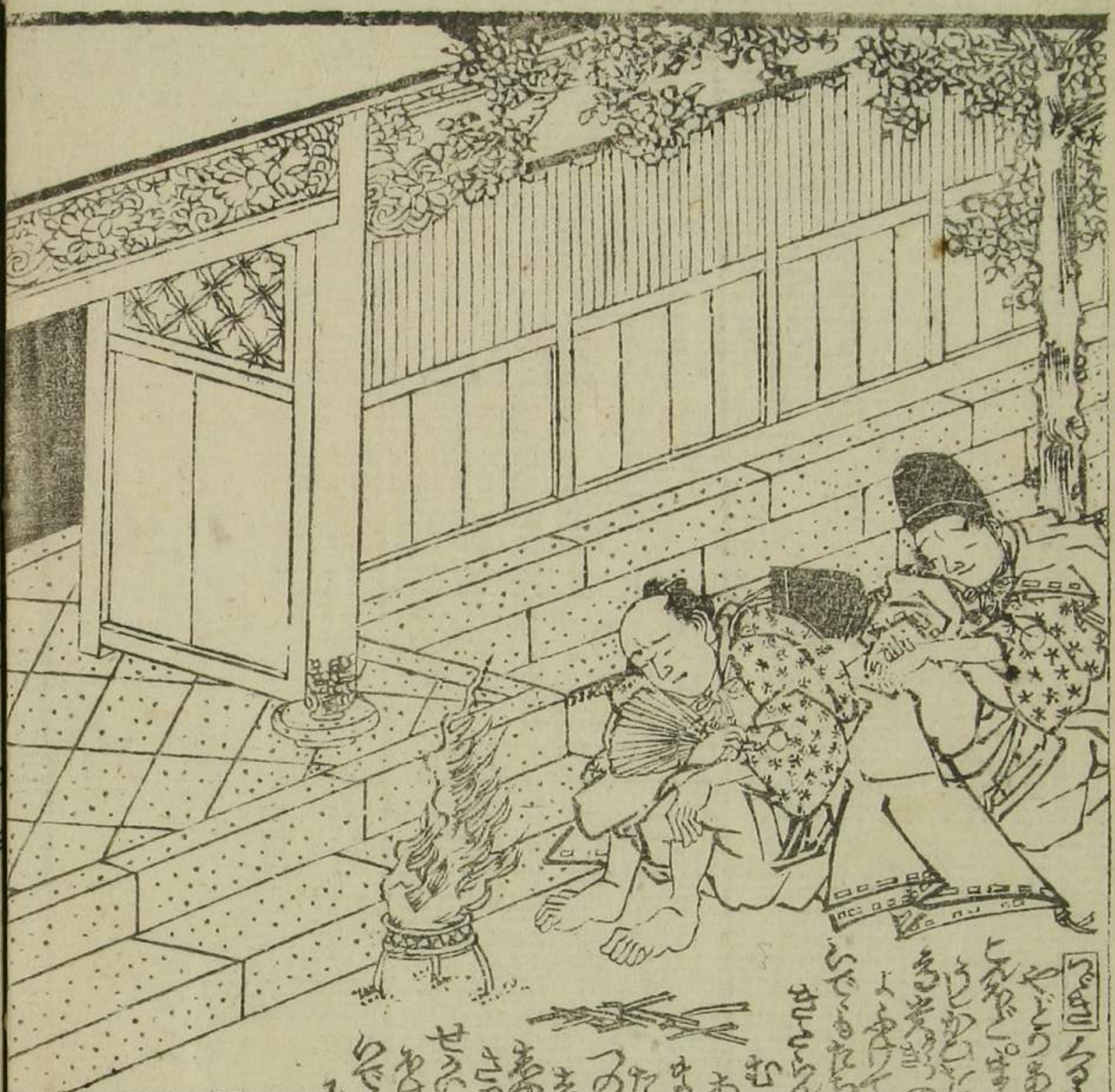
上の巻より

ふらふらとすま
けんのあまを
かみらふまに
あつらふみち
あつらふみち
あつらふみち
あつらふみち
あつらふみち
あつらふみち
あつらふみち
あつらふみち



下巻より

あつらふみち
あつらふみち
あつらふみち
あつらふみち
あつらふみち



仙果作
國貞画

あつらふみち
あつらふみち
あつらふみち
あつらふみち
あつらふみち



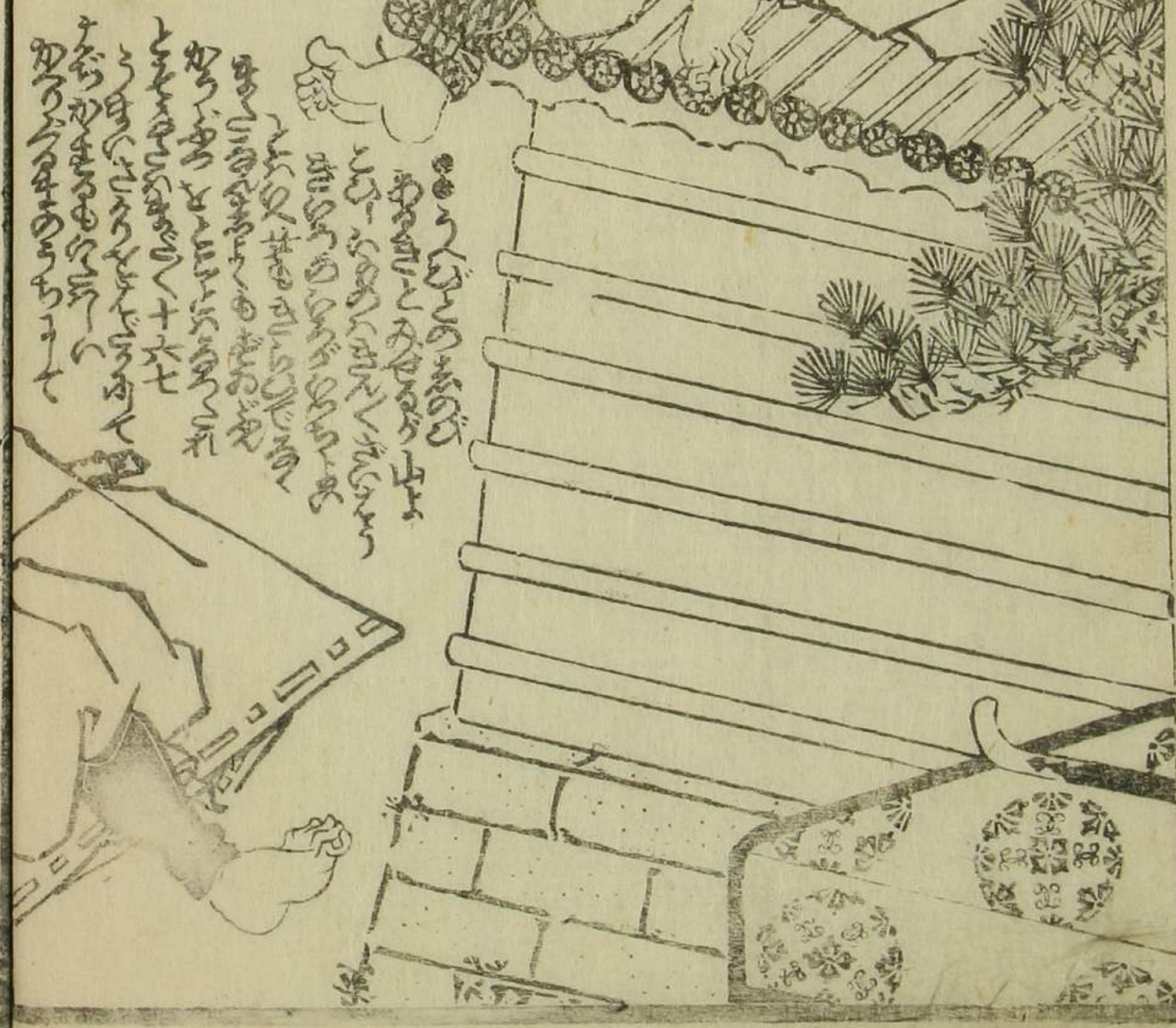
しんがうがのうらみ
あつきのうらみ
あつきのうらみ
あつきのうらみ



しんがうがのうらみ
あつきのうらみ
あつきのうらみ
あつきのうらみ



しんがうがのうらみ
あつきのうらみ
あつきのうらみ
あつきのうらみ



しんがうがのうらみ
あつきのうらみ
あつきのうらみ
あつきのうらみ



けつしんせいのせんと
 ともよしのあまを
 せんせいのあまを
 せんせいのあまを
 とと

せんせいのあまを
 せんせいのあまを
 とと



せんせいのあまを
 せんせいのあまを
 とと

せんせいのあまを

せんせいのあまを

せんせいのあまを
 せんせいのあまを
 とと



仙果作 國貞画

○さへ
みらる
あらたの
ちのくし
たれさ
まん
ゆき

ついで
あけ
たぐり
ま

清書
金川

